



十六銀行



十六銀行からのお知らせです

2010.9 営業の中間ご報告

ミニディスクロージャー誌

【第236期：平成22年4月1日～平成22年9月30日】



お客様の夢を叶える
ベストパートナーバンク

ごあいさつ・基本理念

平素より十六銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。皆さまに当行の営業の概況や平成22年9月期決算の状況をご理解いただくため、ミニディスクロージャー誌を発刊いたしました。

さて、金融機関を取り巻く環境をみますと、製造業を中心に生産の回復が進み、設備投資の下げ止まりの動きなどがみられるものの、景気の先行きに不透明感があることから、資金需要は依然として弱く、今後も厳しい経営環境が続くものとみられます。

このような状況のもと、当行は、持続的成長を成し遂げるために、営業基盤の拡大による収益機会の増大、良質な資産の積み上げによる収益基盤の拡充に努めていく必要があります。

かかる課題に対し、当行は、平成22年9月28日に合意した株式会社岐阜銀行との経営統合に向けて、お客さまへの適切な対応と円滑な業務遂行を徹底し、統合効果の早期実現とその最大化をはかってまいります。また、地域経済の活性化のために、適切かつ積極的な金融仲介機能を発揮し、金融の円滑化に取り組むとともに、お客さまとの信頼関係を構築するために、人材育成に注力するなかでコンプライアンス、顧客保護等の徹底に努めてまいります。

こうした取組みを通じて、“真の東海地区ナンバーワンの銀行”を目指し、一層の企業価値の向上に邁進してまいります。

皆さまにおかれましては、今後とも引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月



取締役頭取
堀江 博海

基本方針



十六銀行は金融機関としての公共的使命を遂行することによって地域社会に奉仕する。

十六銀行は広い視野に立ち、つねに合理性を貫き堅実な経営により発展をはかる。

十六銀行はすべての職員が安定した生活ができるよう努力する。

経営方針



頼りにしていただける銀行

充実した銀行

行動する銀行

当行の概要

創立	明治10年10月
本店所在地	岐阜市
営業拠点数	本支店 135か店 出張所 12か所 ローンサービスセンター 18か所 海外駐在員事務所 2か所(香港・上海)
店舗外ATM	233か所
資本金	368億円
従業員数	3,027名
預金残高	3兆9,732億円
貸出金残高	3兆731億円

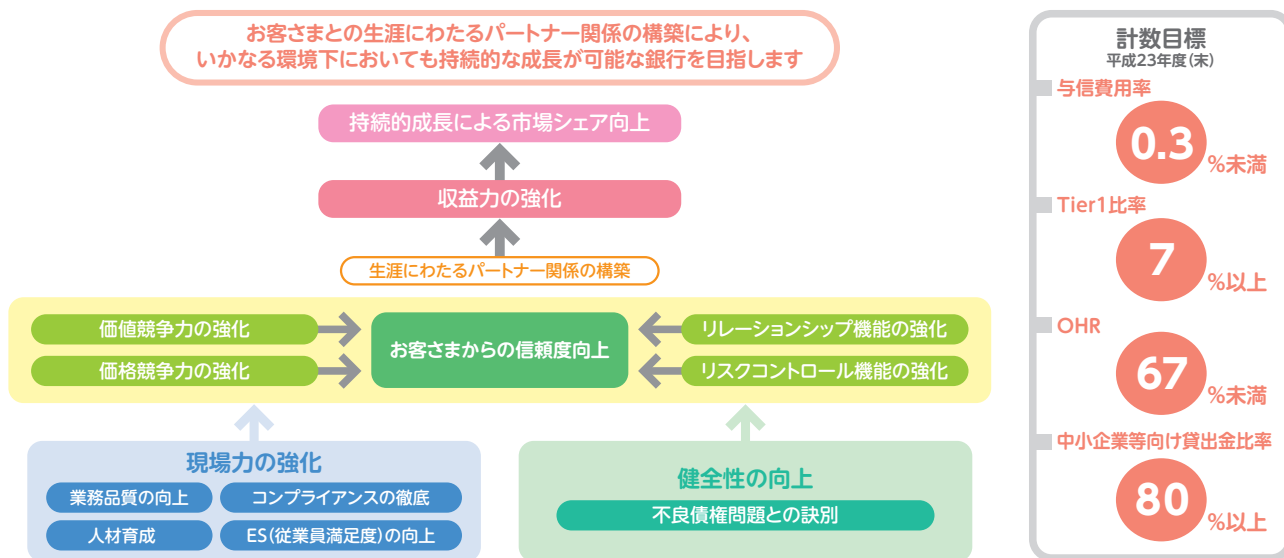
(平成22年9月30日現在)

第11次中期経営計画

お客様の夢を叶えるベストパートナーバンクへの挑戦

平成21年度から3か年を計画期間とする「第11次中期経営計画～お客様の夢を叶えるベストパートナーバンクへの挑戦～」をスタートさせました。

本計画により、金融サービス業として、お客様の夢の実現をお手伝いするなかで、お客さまとの生涯にわたる強固なパートナー関係を構築することにより、どのような厳しい環境下においても、持続的な成長を成し遂げることができる銀行を目指してまいります。



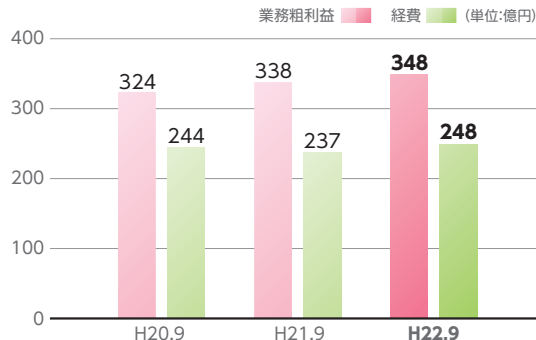
ごあいさつ・基本理念	1
第11次中期経営計画	2
業績ハイライト	3
当行の健全性	5
地域経済・地域社会への貢献～CSRの取組み～	7
金融円滑化に向けた取組みについて	7
地域密着型金融の取組みについて	7
地域の皆さまとのお取引状況	8

地域経済活性化活動	10
社会貢献活動	13
環境保全活動	15
トピックス	16
各種サービスに関するお知らせ	17
財務諸表(単体)	19
財務諸表(連結)	21
株式事務のご案内・株式の状況	22

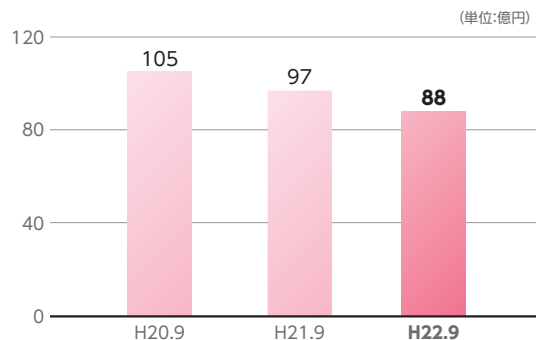


業績ハイライト

業務粗利益・経費



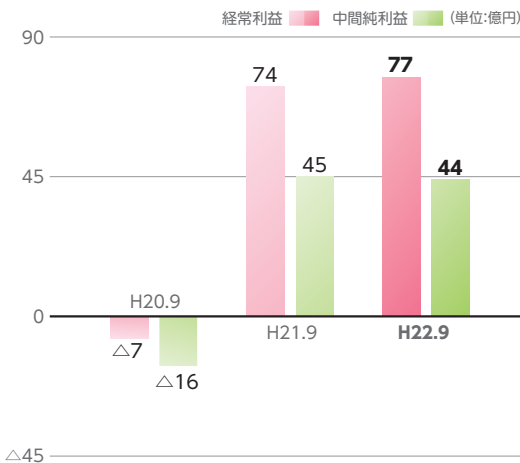
コア業務純益



平成22年9月期の決算

資金の効率的な運用・調達、役務取引の増強ならびに経営全般にわたる合理化の推進により、収益力の強化に努めました。株式等償却の増加により株式等関係損益は減少したものの、与信関係費用が減少したことなどから、経常利益は77億円、中間純利益は44億円となりました。

経常利益・中間純利益



用語説明

業務粗利益

資金利益・役務取引等利益・その他業務利益を合計したものです。

コア業務純益

一般企業の営業利益に相当する業務純益から、一般貸倒引当金繰入額および国債等債券損益を除いて算出され、銀行の本来業務から得られる利益をより正確に表す指標です。

経常利益

業務純益に株式の売却損益・償却および不良債権処理に要した費用等を加減したものです。

当期純利益 (中間純利益)

経常利益に特別損益および税金等を加減した最終的な利益です。



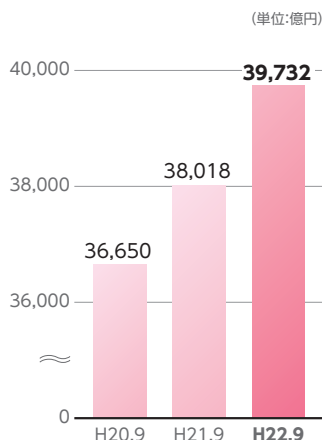
預金の状況

キャンペーン等の各種営業施策を通じ、低コストかつ長期安定的な資金の調達に努めました。また、資産運用ニーズの高まりや多様化に的確にお応えするため、個人を中心に投資信託、公共債、年金・終身保険等投資型商品の増強に努めました。この結果、中間期末の預金残高は、前年同期比1,714億円増加し3兆9,732億円となり、個人預り資産残高は、前年同期比301億円増加し3兆2,017億円となりました。

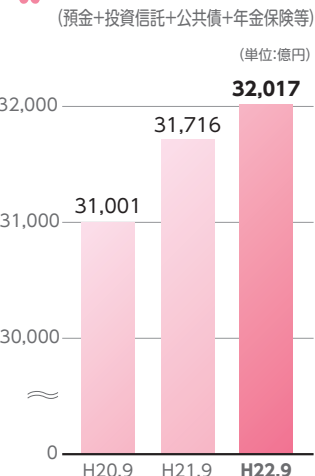
貸出金の状況

地元企業の資金需要に積極的にお応えするとともに、住宅ローンを中心とする個人向け融資や地方公共団体向け融資の取扱いに努めました。この結果、中間期末の貸出金残高は、前年同期比857億円増加し3兆731億円となりました。住宅ローンなどを含む消費者ローン残高は、前年同期比656億円増加し8,773億円となりました。

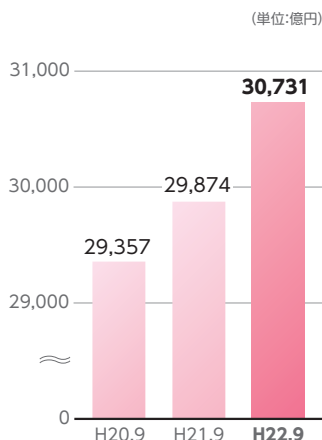
預金残高



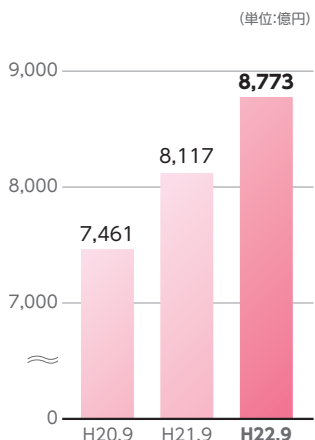
個人預り資産残高



貸出金残高

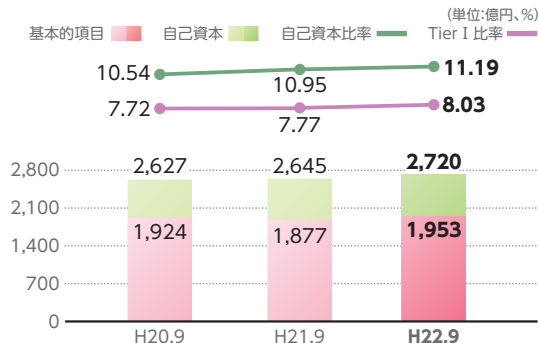


消費者ローン残高



当行の健全性

✿ 連結自己資本比率



連結自己資本比率

国内基準4%を大きく上回っています。

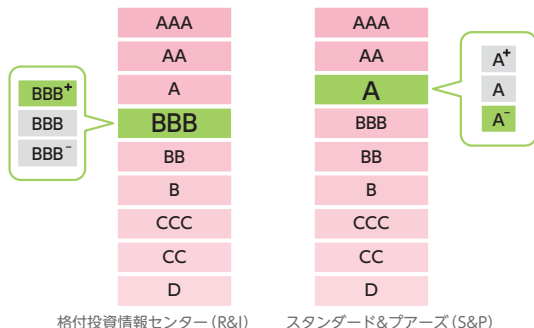
平成22年9月末の連結自己資本比率は11.19%と国内基準を大幅に上回っています。また、連結自己資本比率のうち基本的項目 (TierI) の比率は、8.03%となりました。

※自己資本比率…銀行の健全性を示す最も重要な指標の一つで、自己資本比率が高いほど健全性は高いといえます。なお、国内基準では4%以上を維持することが求められています。

※「連結自己資本比率」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準 (平成18年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。

✿ 格付け

(平成22年9月30日現在)



格付け

当行は、格付投資情報センター (R&I)、スタンダード&プアーズ (S&P) の2つの格付け機関から格付けを取得しています。

※格付け…企業が発行する債券等の元金金が約定どおりに支払われるか、あるいは企業そのものの健全度・信用度を簡単な記号で表したもので、第三者である格付機関が公正な立場から格付けを行います。

✿ 有価証券の評価損益 (単体)

(平成22年9月30日現在)

(単位:億円)

	評価損益		
	評価益	評価損	
株式	98	174	76
債券	204	210	6
その他	△43	27	71
合計	258	412	153

有価証券の評価損益

有価証券については、金融商品会計に基づき、時価評価を実施しています。この結果、評価益と評価損を通算した評価損益は+258億円となりました。

(注) 時価は、期末日における市場価格等に基づいています。

不良債権の状況

「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律（金融再生法）」に基づく貸出金等の資産の査定結果は、右表のとおりです。

不良債権比率

不良債権比率は、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」が0.70%、「危険債権」が2.56%、「要管理債権」が0.24%で、合計3.50%となり、前年同期比0.35ポイント低下しました。

不良債権に対する備え

金融再生法に基づく正常債権以外の債権は1,105億円とありますが、その79.4%（878億円）が担保等や引当金でカバーされています。残り20.6%（227億円）については、お取引先の経営状態から、直ちに引当を要するものではありませんが、将来の貸倒に対しても、当行の純資産の部合計額は2,023億円あり、これに与える影響は軽微です。

用語説明

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権

危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権

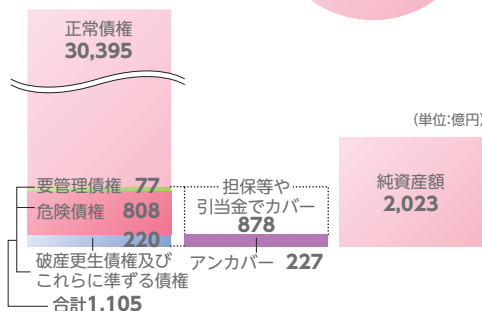
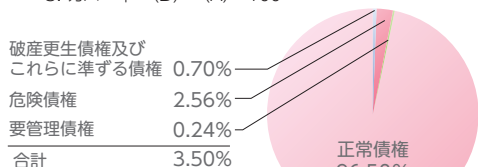
金融再生法に基づく資産の査定（単体）

（平成22年9月30日現在）

（単位：億円）

	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権	要管理債権	正常債権	合計
貸出金等の残高(A)	220	808	77	30,395	31,500
担保等の保全額(B)	77	486	21		
引当額(C)	143	141	10		
(B+C)=(D)	220	627	31		
カバー率	100.0%	77.6%	40.0%		

- (注) 1. 単位未満四捨五入
2. 「金融再生法に基づく資産の査定」には、「貸出金」のほか、「支払承諾見返」、「自行保証付私募債」、「未収利息」、「仮払金」等を含みます。
3. カバー率= (D) ÷ (A) ×100



要管理債権

「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」を除く、3か月以上延滞債権および貸出条件緩和債権

正常債権

債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないものとして、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外のものに区分される債権

地域経済・地域社会への貢献～CSRの取組み～

金融円滑化に向けた取組みについて

当行は、「十六銀行は金融機関としての公共的使命を遂行することによって地域社会に奉仕する」を基本方針として、地域金融の円滑化を最も重要な責務と捉え、お客さまの資金ニーズや借入れ条件の見直しなどのご要望に対して積極的に取り組んでまいりました。

当行では、従来以上に中小企業者のお客さまや住宅ローンをご利用されているお客さまからの各種ご相談にきめ細やかにお応えできるよう、平成21年12月、本部内に「金融円滑化会議」を設置するなど行内態勢を整備いたしました。

これからも地域金融機関として、適切かつ積極的な金融仲介機能を発揮し、一層の金融円滑化に向け、平成22年1月に制定しました金融円滑化に関する基本方針に基づき、迅速、的確、丁寧な対応に努めてまいります。

「緊急休日相談窓口」「休日ご返済相談窓口」の設置について

当行は、厳しい経済情勢を踏まえ、お客さまの資金繰り等のご相談にお応えするため、個人事業主や中小企業の皆さまを対象とした「緊急休日相談窓口」、住宅ローンをご利用の皆さまを対象とした「休日ご返済相談窓口」を設置しております。

金融円滑化に関する基本方針

- 1 ご相談等に対する真摯な対応
- 2 適切な融資審査の実施
- 3 説明の徹底
- 4 中小企業者のお客さまからの申込みへの対応
- 5 住宅ローンをご利用されているお客さまからの申込みへの対応
- 6 ご意見、ご要望および苦情への対応
- 7 条件変更等の実施後のフォロー態勢
- 8 経営実態ならびに成長性および将来性等を適切に見極めるための能力の向上
- 9 金融円滑化管理態勢整備
- 10 行内における周知

地域密着型金融の取組みについて

平成21年4月からスタートした第11次中期経営計画では、「お客さまとの生涯にわたるパートナー関係の構築に向けて、リレーションシップに基づく中長期的な視点での取組みをしていく」ことを基本方針として掲げ、地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

主な取組み

重点項目	具体的施策	
ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化	創業・新事業支援への取組み	・民間主導型ベンチャー支援組織「NOBUNAGA21」の活用
	経営改善への取組み	・「三行ビジネス商談会」の開催 ・「じゅうろく海外販路開拓セミナー」の開催 ・「日中ものづくり商談会@上海2010」の開催
	事業再生支援への取組み 事業承継支援への取組み	・経営改善支援の取組み強化 ・コンサルティングの実施による事業承継の支援
事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底	不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み	・「成長戦略ファンド」の取扱い開始
	資金調達手法の多様化への取組み	・「電子記録債権」割引の取扱い開始
地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献	地域再生・地域貢献への取組み	・愛大・十六産学連携事業「タウンフォーラム2010 in Gifu」の開催 ・「じゅうろくPFセミナー」の開催
	多様な金融サービスの提供に向けた取組み	・「WAKU! WAKU! キッズフェスタ」の開催 ・「かがく・さんすうアカデミー」の開催



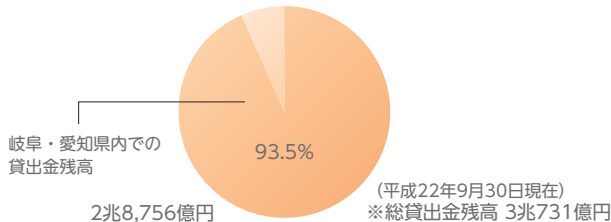
地域の皆さまとのお取引状況

十六銀行は、岐阜県・愛知県を主要な地盤とする地域金融機関として、地域経済の活性化に積極的に関わり、豊かで住みよい地域社会の実現に貢献したいと考えています。

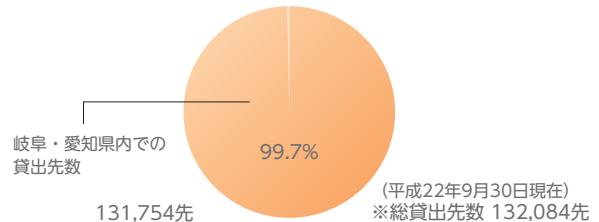
地域の皆さまへの貸出の状況

総貸出金残高に占める岐阜・愛知県内での貸出金残高割合は93.5%、総貸出先数に占める岐阜・愛知県内での貸出先数割合は99.7%です。今後も引き続き、地域経済の発展に貢献できる金融機関を目指します。

岐阜・愛知県内での貸出金割合 (岐阜・愛知県内での貸出金残高/総貸出金残高)

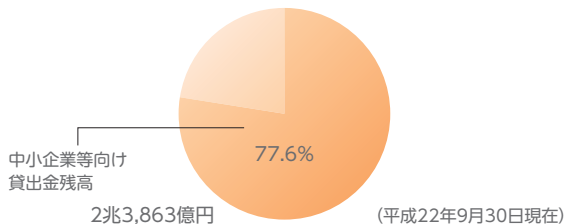


岐阜・愛知県内での貸出先の割合 (岐阜・愛知県内での貸出先数/総貸出先数)

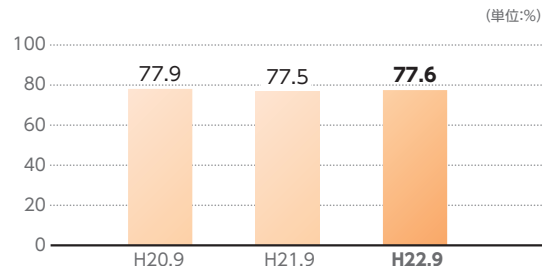


中小企業等向け貸出の状況

中小企業等向け貸出金割合 (中小企業等向け貸出金残高/総貸出金残高)



中小企業等向け貸出金割合の推移



地域経済・地域社会への貢献～CSRの取り組み～



業種別貸出金の状況

業種別の貸出先数、貸出金残高および岐阜・愛知県における貸出先数、貸出金残高は次のとおりです。

(平成22年9月30日現在)

業種	貸出先数(先)	岐阜・愛知県での貸出先数(先)	貸出金残高(億円)	岐阜・愛知県での貸出金残高(億円)
製造業	5,343	5,255	5,889	5,204
農業、林業	230	230	53	53
漁業	7	7	2	2
鉱業、採石業、砂利採取業	31	30	30	26
建設業	3,742	3,739	1,608	1,601
電気・ガス・熱供給・水道業	57	54	223	204
情報通信業	238	234	176	128
運輸業、郵便業	639	622	780	551
卸売業、小売業	4,843	4,796	3,445	3,253
金融業、保険業	127	100	885	545
不動産業、物品賃貸業	3,905	3,860	4,237	3,838
学術研究、専門・技術サービス業	874	873	253	253
宿泊業	117	115	279	269
飲食業	1,177	1,173	262	250
生活関連サービス業、娯楽業	674	664	670	656
教育、学習支援業	136	136	58	58
医療・福祉	1,171	1,165	871	869
その他のサービス	985	981	303	299
地方公共団体	39	38	2,296	2,291
その他	107,749	107,682	8,401	8,396
合計	132,084	131,754	30,731	28,756

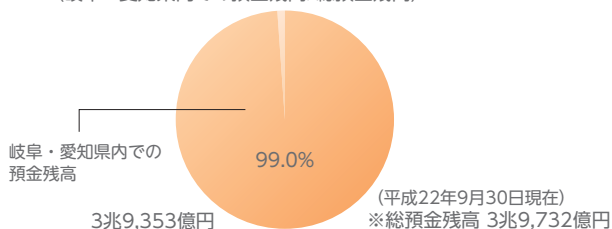
(注) 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。

地域の皆さまからのお預入れの状況

平成22年9月末時点での総預金残高3兆9,732億円のうち、岐阜・愛知県内での預金残高は3兆9,353億円であり99.0%を占めています。

岐阜・愛知県内での預金残高の割合

(岐阜・愛知県内での預金残高/総預金残高)





地域経済活性化活動

取引先企業活性化に向けての活動

当行では、取引先企業のさまざまな経営課題に対し最適なソリューションを提案し、企業のライフサイクルに合わせ付加価値の高いサービスを提供するよう努めています。シンジケートローンや私募債等多様な資金調達の方法を提供するとともに、ベンチャー支援組織

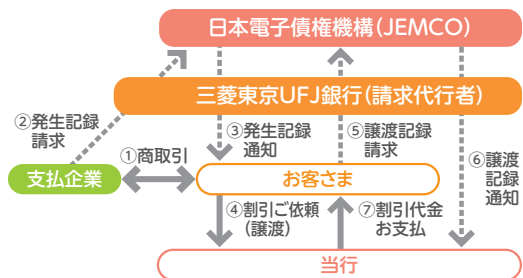
「NOBUNAGA21」による投資活動、株式公開支援業務、ビジネスマッチングや三行ビジネス商談会、M&A業務等、事業の立ち上げから継続的な発展まで、さまざまなライフステージにある企業をサポートする取組みを行っています。

成長戦略ファンド

当行は、平成22年7月、日銀の新貸出制度を利用した融資商品「成長戦略ファンド」を設定いたしました。中部地区の産業の根幹であるものづくりのさらなる発展と、持続可能な循環型社会の実現を目指す取組み方針に基づき、地域が持つ潜在成長力の引き上げに貢献することを目的としております。なお、平成22年9月末時点の取扱い実績は、82件、94億円となっております。

電子記録債権割引

今後、商流のなかで決済手段の中心となることが予想されている電子記録債権について、当行は株式会社三菱東京UFJ銀行の100%出資子会社である日本電子債権機構株式会社が提供・運営管理する「電手決済サービス」に参加し、割引の取扱いを行っています。今後においても、電子記録債権をお受取りになられたお取引先企業の資金調達ニーズにお応えしてまいります。



地域経済・地域社会への貢献～CSRの取り組み～

「第7回三行（十六・名古屋・百五銀行） ビジネス商談会」の開催について

平成22年9月17日、名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール）において当行・名古屋銀行・百五銀行の共同主催による「第7回三行ビジネス商談会」を開催しました。今回は、業務提携している北陸地域の銀行のお客さまからも参加が増え、全体で610社の企業に参加いただき、1,280件の個別商談と約70社のブース出展による商談会を行いました。アンケートでは法人のお客さまが金融機関に期待する機能・役割において、「ビジネスマッチング」に関するご要望が上位にあります。

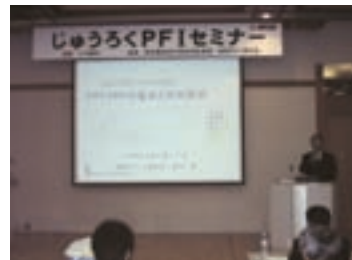
当行としましては、金融業務のみにとどまらず、商談会のようなビジネスマッチングの機会提供をはじめ、さまざまなサービスを提供することで地元中小企業を中心とした地域経済の活性化を目指し、皆さまのお役に立ちたいと考えております。



「じゅうろくPFIセミナー」の開催について

平成22年5月17日、じゅうろくプラザにおいて、中部経済産業局および岐阜PFI研究会の後援により「じゅうろくPFIセミナー」を開催いたしました。地方財政が厳しくなるなか、民間の資金を活用するPFI（Private Finance Initiative）の重要性はますます高まることが予想されております。本セミナーは、主に地方自治体の担当者を対象にPFIの現状、将来展望、実施事例について解説を行ったものです。

当行は、金融サービスのみならず、セミナー開催による情報提供活動など幅広いサービス提供に取り組み、地域経済の活性化に努めてまいります。



ものづくり支援の取り組みについて

当行は、当地区の基幹産業である「ものづくり」へのさまざまな支援に取り組んでいます。昨年度に引き続いて、製造関連業向け融資商品「ものづくり応援ファンドⅡ」を設定し、資金ニーズにお応えしております。また、地元製造業との関係強化のため法人営業部内に本年度設置した「マーケット戦略チーム」においては、自動車関連産業から航空機産業への参入支援等を行っております。

海外ビジネスサポート

海外販路開拓セミナーの開催について

平成22年8月26日、当行名古屋支店にて「海外販路開拓セミナー」を開催しました。

当日は、世界最大級の企業間電子商取引（BtoB）サイトを運営するアリババドットコムグループと日本通運㈱から講師をお招きし、海外ビジネスを展開するお客さまにインターネットを活用した海外販路開拓に関する情報をお届けしました。



「日中ものづくり商談会@上海2010」の開催について

平成22年9月16日、17日の2日間にわたり、中国・上海市にて「日中ものづくり商談会@上海2010」を開催しました。当行は、1993年に地方銀行として初めて上海に駐在員事務所を設置し、以来17年にわたり、お客さまの中国進出をサポートしてまいりました。本商談会は、当行が5年前に地方銀行で初めて開催し、今回6回目の開催となるもので、2日間の開催期間中で、日系企業334社（内当行お取引先12社）が出展、来場企業3,200社、来場者数5,300名、当日の商談件数は8,500件と、過去最大規模となりました。



中国人民幣建て貿易決済業務の取扱い開始について

平成22年9月6日より、東海地区に本店を置く地方銀行で初めて中国人民幣建て貿易決済（仕向外国送金・被仕向外国送金）の取扱いを開始しました。従来、中国との貿易取引は、円や米ドル建てによる決済が一般的でしたが、中国政府の規制緩和に伴い人民幣建て貿易決済が可能となったものです。今後、お客さまの人民幣建て貿易取引のニーズが高まることが予想されることから、他行に先駆けて取扱いを開始しました。





社会貢献活動

卓球部の活躍

～地域の皆さまに愛されるチーム作りを目指して～

当行卓球部は昭和55年創部以来、皆さまの温かいご支援のもと地道な努力を重ね、今では日本のトップチームとして認められるまでになりました。

平成24年に開催される「ぎふ清流国体」に向けてジュニア層の強化と普及活動を積極的に行っています。



～じゅうろく夏休み親子特別企画～ WAKU! WAKU! キッズフェスタ

平成22年8月2日、「～じゅうろく夏休み親子特別企画～WAKU! WAKU! キッズフェスタ」を開催しました。この企画は、女性CS向上ユニット「JUICES」が初めて企画したイベントで、応募総数635通から50組100名の親子を抽選のうえご招待しました。

参加した子供たちは、JUICESメンバーのサポートにより模擬通帳を作成したほか、岐阜県金融広報委員会の尾関大輔先生から「お金の歴史・お金の価値」を学びました。

また、「当行卓球部の選手との親子3ポイント対決」や「カブトムシに触れる生態疑似体験」を通じて、夏休みの親子の思い出作りをお手伝いしました。



公益財団法人 十六地域振興財団の活動

十六地域振興財団は、地域社会への貢献を目的として設立され、地域における産業振興、社会生活環境の整備、文化・スポーツ・国際化などの活動を助成により支援しております。平成21年度末までの助成累計は421件1億5,862万円となっております。また十六銀行創立130周年を記念して奨学金制度を創設し、平成22年度では52名の奨学生に対して、19,600千円の奨学金を支援しております。



「十六銀行地域社会貢献推進委員会」の活動

十六グループ会社役職員が一体となり、地域社会への積極的な貢献活動に取り組んでいます。

11歳以下を対象とした「じゅうろくカップU-11サッカー大会」の開催や「長良川を美しくしよう運動」等の清掃活動をはじめ、「集団献血」、「地域のまつり」等々に参加しています。





シニアのための「くるるセミナー」 (岐阜大学・十六銀行産学連携プロジェクト)

当行は、岐阜大学と連携し、シニアのためのセミナーを開催しています。もっと人生を充実させたい、これから元気に暮らしたいと思われるアクティブなシニアの方々に、健康やパソコン、地元の歴史や身近な自然、音楽や文学など、楽しく参加していただけるセミナーを各種ご用意し、皆さまのシニアライフをサポートしています。

また、セミナーの参加者も平成13年10月の開講以来、延べ10,000名を超えるとともに、ここから自主的なサークルも多数生まれ、シニアの方々が楽しく元気に活動されています。



チャリティゴルフコンペ 「ミナモ☆グリーン☆カップ」の開催について

岐阜県開催は「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」を、愛知県開催は「COP10」を支援する目的で、チャリティゴルフコンペ「ミナモ☆グリーン☆カップ」を12会場で開催し、総勢1,600名を超える方々にご参加いただきました。

この企画は、スポーツを通してお客さまと一層親睦を深めるとともに、ご参加いただいた皆さまとともに地域貢献活動に参画したいとの思いにより企画したもので、総額7百万円を上回る寄附金は各イベント成功のためにご活用いただけます。



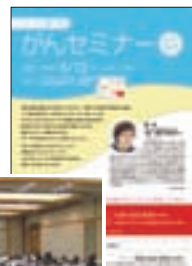
「がんセミナー」の開催について

当行は、平成22年1月22日に、地域の皆さまの健康と安心をお手伝いするため、岐阜県や保険会社等と連携して「岐阜県がん検診受診率向上に関する協定」を締結しました。その普及活動の一環として、「がん」をテーマとしたセミナーを継続的に実施しております。

平成22年5月13日開催の「第1回セミナー」は、働き盛りでがん罹患された方を講師に、「がん」を体験された方にしか分からない体験談について分かりやすくお話いただきました。

また、平成22年7月23日開催の「第2回セミナー」では、がん治療の専門医の第一人者として活躍している医師を講師に、医師の立場から「がん」の予防、発見から最善の治療、さらに最先端治療についてお話いただきました。セミナーに参加されたお客さまからは非常に好評で、「がん」検診の重要性をご認識いただきました。

今後も地域の皆さまに「がん」をテーマとしたセミナーを継続的に実施し、がん検診受診率の向上に取り組んでまいります。



「じゅうろくてつめいギャラリー」の活動

「じゅうろくてつめいギャラリー」は、当行の旧徹明支店を改修したもので、平成19年9月から地元の皆さまには“文化活動の発表や交流ができる歴史的な建造物”として絵画展・写真展・講演会などにご利用いただいております。

開場3周年にあたる平成22年には無料貸出用のグランド・ピアノを設置し、より幅広く音楽系イベントにも本ギャラリーをご利用いただけるようにいたしました。





🌸 環境保全活動

省エネルギー・省資源の推進

平成13年に本店ビルにてISO14001（環境マネジメントシステム）の認証を取得し、その後平成18年に事務センターまで適用範囲を拡大しました。「十六銀行環境方針」に基づき環境目的を定め、全役職員が電力使用量、コピー用紙使用量の削減等に努めています。

本部・支店をはじめとする銀行の全施設のエネルギー使用量を一元管理するシステムを導入し、銀行全体の省エネルギー対策に取り組んでいます。



環境マネジメントシステム審査登録証

🌸 紙ごみのリサイクル推進

銀行内で使用された紙類は徹底された分別回収により大半が製紙原料として利用され、銀行内で使用するトイレットペーパーなどに再生されています。

🌸 グリーン購入の推進

事務用品・広告宣伝品等について、環境負荷のできるだけ小さい製品を優先して購入するグリーン購入を推進しています。

🌸 環境対応型金融商品の取扱い

個人のお客さまへ

「じゅうろくエコローン」（マイカーエコプラン、住宅エコプラン）の取扱いや、太陽光発電システムの購入・設置を資金使途とした「かんたんローン」での金利割引を行っております。

法人のお客さまへ

「エブリサポート21」（環境問題対応支援ローン）の取扱いのほか、平成21年9月からは、お取引先企業の温室効果ガス排出権の取得ニーズにお応えすることを目的に、「排出権信託受益権顧客紹介業務」を開始しています。

環境に配慮した店舗づくり

平成22年7月にオープンした関支店では、建物全体に太陽光線を反射するタイル貼（一部緑化タイル）と複層ガラスでクールアイランド効果と空調負荷低減を実現、また外灯など一部照明にLED、快適性と省エネを両立した空調システムを採用するなど、環境配慮に取り組んでいます。





トピックス

緑ローンサービスセンターの 新設オープンについて

平成22年4月16日、名古屋市緑区に愛知県では12か所目となる「緑ローンサービスセンター」が新設オープンいたしました。設置場所は平成21年3月に開設した緑支店の2階となります。

平日のみならず、日曜日も営業し、お客さまや不動産・住宅業者さまからの住宅ローンのご相談ニーズにもきめ細やかにお応えいたします。

～女性CSユニット「JUICES」の活動内容～

当行が「CS（顧客満足度）においても東海地区No.1バンク」となることを目指し組成されたJUICESは、主に女性の視点を活かしながら、CSの向上に努めております。

JUICES組成後、約1年が経過し、「自分の店を良くしたい。」という意識が芽生え、営業店の雰囲気明るくなってきているほか、各営業店のCS委員をブロック（営業地域）ごとにまとめるCSオフィサーがJUICESのメンバーと連携し「ブロックCS会議」を開催するなど、JUICESの活動が当行のCS向上に繋がってきております。



愛知南ローンサービスセンターの 移転オープンについて

平成22年9月5日、刈谷ローンサービスセンターを大府市に移転し、名称を「愛知南ローンサービスセンター」と改め、リニューアルオープンいたしました。設置場所は、リソラ大府ショッピングテラスの2階となります。

ローンサービスセンターを大型ショッピングセンター内に設置することは初めての試みです。当地域のお客さまがよりご来店、ご相談しやすいローンサービスセンターを目指します。



関支店の新築・移転オープンについて

平成22年7月12日、関支店が新築・移転オープンいたしました。

店舗は、関の地場産業である刃物をモチーフとした縦ルーバーを正面中央に配置しましたが、その両サイドには緑化タイルを配し、また建物全体に太陽光線を反射するタイルと複層ガラスを採用し、クールアイランド効果と空調負荷軽減に努めています。



各種サービスに関するお知らせ

ATMネットワーク／キャッシュカードに関するQ&A／各種お問い合わせ

ATMネットワーク

お客さまが平日・休日問わず、どこでもお取引ができるよう、さまざまなチャネル、サービスを充実することで利便性の向上に努めています。

十六銀行のATM

当行のATMは、年中無休でご利用いただけるのはもちろんのこと、すべてのサービスを原則21時まで提供しています。

セブン銀行・イーネットのATM

コンビニATM「セブン銀行」「イーネット」で「お引出し」「お預入れ」「残高照会」をご利用いただけます。

イオン銀行のATM

イオン銀行のATMで「お引出し」「お振込み」「残高照会」をご利用いただけます。

ゆうちょ銀行のATM

ゆうちょ銀行のATMで「お引出し」「お預入れ」「残高照会」をご利用いただけます。

無料提携金融機関のATM

無料提携金融機関のATMで下表に記載されているお取引を他行利用手数料「無料」にてご利用いただけます。

〈セブン銀行・イーネット、イオン銀行、ゆうちょ銀行ATMでのサービス内容〉

	お引出し	お振込み	お預入れ	残高照会
コンビニATM「セブン銀行」・「イーネット」	○	—	○	○
イオン銀行のATM	○	○	—	○
ゆうちょ銀行のATM	○	—	○	○

※所定のご利用手数料が必要な場合があります。

〈無料提携金融機関ATMでのサービス内容〉

	お引出し	お振込み	お預入れ	残高照会
岐阜・名古屋・愛知・百五銀行のATM	○	○	○	○
岐阜・大垣・高山・東濃・関・八幡・西濃信用金庫、岐阜商工・飛騨・益田信用組合、中京銀行のATM	○	○	—	○
三菱東京UFJ銀行のATM	○	—	—	○

※時間外の「お引出し」「お振込み」には各提携金融機関所定の手数料が必要です。

※三菱東京UFJ銀行では他行利用手数料有料にてお振込みをご利用いただけます。

キャッシュカードに関するQ&A

Q キャッシュカードをなくした時は？

A (1) すぐにお取引店かその他の十六銀行本支店、または、以下のフリーダイヤルまでご連絡ください。ご連絡があり次第、そのカードが使われないように手続きいたします。

ご連絡先 ①月～金曜日（祝日および12/31～1/3を除く）
9時00分～17時30分

お取引店かその他の十六銀行本支店
②上記受付時間外および土・日・祝日
0120-69-5416

(2) 正式届出と再発行手続きのため、次のものをお持ちのうえ、お取引店かその他の十六銀行本支店の窓口までご本人がお越しください。

①通帳 ②届出の印鑑
③ご本人であることが確認できる資料（運転免許証、パスポート等）

Q キャッシュカード支払限度額を変更したい時は？

A キャッシュカードの1日あたりのカード支払限度額は200万円（一部異なるキャッシュカードがございます）となっておりますが、1万円以上200万円以内（1万円単位）で自由に変更できます。次のものをお持ちのうえ、お取引店かその他の十六銀行本支店の窓口までご本人がお越しください。

(1) 通帳およびキャッシュカード
（限度額引下げの場合には何れかで結構です。）
(2) 届出の印鑑
(3) ご本人であることが確認できる資料（運転免許証、パスポート等）

Q キャッシュカードの暗証番号を変更したい時は？

A 当行ATMで変更の手続きができます。

（平成22年9月30日現在）



各種お問い合わせ先

キャッシュカードサービスに関するご連絡先

内容	電話番号	受付時間
各種キャッシュカードサービスに関するお問い合わせ	0120-69-5416	月曜日7:00～土曜日21:00 日曜日8:45～21:00
キャッシュカードを盗難・紛失された場合のご連絡	●携帯電話・PHS利用可	24時間365日

各種お問い合わせ先

内容	電話番号	受付時間
商品・サービス・キャンペーンに関するお問い合わせ先	0120-50-8616 ●岐阜県・愛知県以外の地域から、 または携帯電話・PHSからは 0584-77-1605 (通話料有料)	月曜日～金曜日9:00～19:00 土曜日・日曜日9:00～17:00 (祝日および12/31～1/3を除く)
中小企業のお客さまのご返済に関するご相談		月曜日～金曜日9:00～17:00(祝日および12/31～1/3を除く)
ローンに関するお問い合わせ先		月曜日～金曜日9:00～17:00(祝日および12/31～1/3を除く)
年金に関するお問い合わせ先		月曜日～金曜日9:00～17:00(祝日および12/31～1/3を除く)
インターネットバンキングに関するお問い合わせ先		月曜日～金曜日9:00～17:00(祝日および12/31～1/3を除く)
資産運用に関するご相談・金融商品仲介に関するお問い合わせ	0120-438-016 ●携帯電話・PHS利用可	月曜日～金曜日9:00～17:00(祝日および12/31～1/3を除く)
外国為替相場に関するお問い合わせ	0120-1616-92 ●岐阜県・愛知県以外の地域から、 または携帯電話・PHS利用不可	24時間365日(自動音声)
当行へのご意見・ご要望 お客さま相談室	058-265-2111(代表) (通話料有料)	月曜日～金曜日9:00～17:00(祝日および12/31～1/3を除く)
金融円滑化ホットライン (中小企業および住宅ローンの金融円滑化に関するご意見・ご要望 等)	058-265-2155(通話料有料) ※通話中の場合 058-265-2111(代表)	月曜日～金曜日9:00～17:00(祝日および12/31～1/3を除く)
住宅ローンご返済相談窓口	058-266-2520(通話料有料) 058-262-0533(通話料有料)	月曜日～金曜日9:00～17:00(祝日および12/31～1/3を除く) 第2・第4日曜日9:00～17:00

振り込め詐欺救済法に関するお問い合わせ先

内容	電話番号	受付時間
振り込め詐欺救済法に関するお問い合わせ	0120-017316 ●携帯電話・PHS利用可	月曜日～金曜日9:00～17:00(祝日および12/31～1/3を除く)

指定紛争解決機関

当行が契約している銀行法上の指定紛争解決機関	全国銀行協会 連絡先：全国銀行協会相談室 電話番号：0570-017109 または 03-5252-3772
------------------------	--

十六グループのご紹介

会社名	所在地	業務内容	設立年月日
十六ビジネスサービス(株)	岐阜市中竹屋町34番地 (058) 266-2682	事務受託業務	昭和54年 1月16日
(株)十六ディーシーカード	岐阜市神田町7丁目12番地 (058) 263-1116	クレジットカード業務	昭和57年 8月13日
(株)十六ジェーシービー	岐阜市神田町7丁目12番地 (058) 265-3316	クレジットカード業務	平成 6年11月10日
十六リース(株)	岐阜市神田町7丁目12番地 (058) 262-3116	リース業務	昭和50年 3月11日
十六コンピュータサービス(株)	岐阜市神田町7丁目12番地 (058) 262-1116	コンピュータ関連業務	昭和60年 8月 1日
十六信用保証(株)	岐阜市神田町7丁目12番地 (058) 266-1616	信用保証業務	昭和54年 5月23日
十六キャピタル(株)	岐阜市神田町7丁目12番地 (058) 264-7716	投融資業務	昭和59年 4月27日

財務諸表 (単体)

第236期中 中間貸借対照表 (平成22年9月30日現在)

(単位:百万円)

科目	金額
(資産の部)	
現金預け金	78,740
コールローン	61,927
商品有価証券	1,462
金銭の信託	5,857
有価証券	1,067,496
貸出金	3,073,100
外国為替	2,736
その他資産	51,568
有形固定資産	62,795
無形固定資産	7,089
繰延税金資産	14,226
支払承諾見返	22,369
貸倒引当金	△ 42,687
資産の部合計	
	4,406,684

(単位:百万円)

科目	金額
(負債の部)	
預金	3,973,260
譲渡性預金	11,886
債券貸借取引受入担保金	68,289
借入金	36,400
外国為替	616
社債	30,000
その他負債	40,431
未払法人税等	155
資産除去債務	117
その他の負債	40,157
賞与引当金	1,452
退職給付引当金	7,950
役員退職慰労引当金	307
睡眠預金払戻損失引当金	253
偶発損失引当金	1,077
再評価に係る繰延税金負債	10,055
支払承諾	22,369
負債の部合計	4,204,352
(純資産の部)	
資本金	36,839
資本剰余金	25,366
資本準備金	25,366
利益剰余金	113,347
利益準備金	20,154
その他利益剰余金	93,192
別途積立金	86,700
繰越利益剰余金	6,492
自己株式	△ 1,623
株主資本合計	173,929
その他有価証券評価差額金	16,009
土地再評価差額金	12,392
評価・換算差額等合計	28,402
純資産の部合計	202,331
負債及び純資産の部合計	4,406,684

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

第236期中 中間損益計算書 (平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
経常収益	43,527
資金運用収益	33,678
(うち貸出金利息)	(26,957)
(うち有価証券利息配当金)	(6,610)
役員取引等収益	5,578
その他業務収益	2,395
その他経常収益	1,875
経常費用	35,781
資金調達費用	3,910
(うち預金利息)	(3,288)
役員取引等費用	2,246
その他業務費用	673
営業経費	25,802
その他経常費用	3,148
経常利益	7,745
特別利益	0
特別損失	346
税引前中間純利益	7,399
法人税、住民税及び事業税	35
法人税等調整額	2,869
法人税等合計	2,905
中間純利益	4,494

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

用語説明

資産の部

お客さまへのご融資である「貸出金」、債券や株式等の「有価証券」など主に資金の運用状況を表しています。

負債の部

お客さまからお預かりしている「預金」、「譲渡性預金」、「借入金」など、主に資金の調達状況を表しています。

純資産の部

株主の皆さまからの出資金である「資本金」や今までの利益の蓄積である「利益剰余金」などの総額を表しています。



財務諸表 (連結)

中間連結貸借対照表 (平成22年9月30日現在)

(単位:百万円)

科目	金額
(資産の部)	
現金預け金	79,629
コールローン及び買入手形	61,927
商品有価証券	1,462
金銭の信託	5,857
有価証券	1,068,607
貸出金	3,057,931
外国為替	2,736
リース債権及びリース投資資産	43,174
その他資産	68,029
有形固定資産	66,662
無形固定資産	7,333
繰延税金資産	16,303
支払承諾見返	23,439
貸倒引当金	△48,115
資産の部合計	4,454,978

(単位:百万円)

科目	金額
(負債の部)	
預金	3,959,974
譲渡性預金	6,886
債券貸借取引受入担保金	68,289
借入金	60,153
外国為替	616
社債	30,000
その他の負債	58,902
賞与引当金	1,560
退職給付引当金	8,003
役員退職慰労引当金	308
睡眠預金払戻引当金	253
偶発損失引当金	1,390
繰延税金負債	8
再評価に係る繰延税金負債	10,055
支払承諾	23,439
負債の部合計	4,229,842
(純資産の部)	
資本金	36,839
資本剰余金	25,357
利益剰余金	115,485
自己株式	△1,384
株主資本合計	176,297
その他有価証券評価差額金	16,021
土地再評価差額金	12,392
評価・換算差額等合計	28,413
少数株主持分	20,424
純資産の部合計	225,135
負債及び純資産の部合計	4,454,978

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書 (平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
経常収益	56,309
資金運用収益	33,909
(うち貸出金利息)	(27,155)
(うち有価証券利息配当金)	(6,627)
役員取引等収益	7,290
その他業務収益	13,218
その他経常収益	1,890
経常費用	47,649
資金調達費用	4,061
(うち預金利息)	(3,284)
役員取引等費用	2,371
その他業務費用	10,161
営業経費	27,254
その他経常費用	3,799
経常利益	8,660
特別利益	1
特別損失	346
税金等調整前中間純利益	8,315
法人税、住民税及び事業税	390
法人税等調整額	2,902
法人税等合計	3,293
少数株主損益調整前中間純利益	5,022
少数株主利益	489
中間純利益	4,533

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式事務のご案内・株式の状況



株式事務のご案内

✦ 決算日

毎年3月31日に決算を行います。

✦ 定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

✦ 配当金

期末配当は、毎年3月31日を基準日として、定時株主総会終了後、ご指定の方法によりお支払いいたします。中間配当を行う場合は、毎年9月30日を基準日として、同様の方法によりお支払いいたします。

✦ 基準日

定時株主総会については毎年3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

✦ 公告方法

電子公告といたします。

インターネットホームページ <http://www.juroku.co.jp/>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞および岐阜市において発行する岐阜新聞に掲載して行います。

✦ 株式事務取扱場所

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

お問い合わせ先・郵便物送付先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711 (通話料無料)

✦ 株式に関するお手続きの窓口について

- 住所変更、配当金受取方法の指定、単元未満株式の買取・買増、その他各種お手続き
 - 特別口座に記録された株主様
特別口座の口座管理機関である上記三菱UFJ信託銀行
 - 証券会社等の口座に株式をお持ちの株主様
口座を開設されている証券会社等
- 未受領の配当金のお支払い
株主名簿管理人である上記三菱UFJ信託銀行本支店

株式の状況 (平成22年9月30日現在)

✦ 資本金

36,839,102,011 円

✦ 株式の数

発行可能株式総数 460,000,000 株

発行済株式の総数 366,855,449 株

✦ 株主数

15,211 名

株主優待のご案内

毎年3月31日現在、1,000株以上ご所有の株主様に対し、ナチュラルミネラルウォーター1箱(500ml・24本入)を贈呈いたします。



1単元(1,000株)に満たない株式をご所有の株主様へ

「単元未満株式の買増請求制度」と「単元未満株式の買取請求制度」のいずれかをご利用いただけます。

平成21年1月から、「買増請求」「買取請求」に伴う手数料は無料としています。(ただし、証券会社でのお手続きの場合には、別途手数料が必要となる場合があります。詳しくは、お取引の証券会社にご確認ください。)

- 単元未満株式の買増請求制度とは、1単元(1,000株)に満たない株式を有する株主様が、当行から1単元に不足している株式を買増し、1単元の株式にできる制度です。
- 単元未満株式の買取請求制度とは、当行が株主様から、1単元(1,000株)に満たない株式を買取りさせていただく制度です。
- いずれの手続きも、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)においてお受けしております。
特別口座に記録された株式につきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行においてお受けしております。
- 買増請求につきましては、毎年3月31日および9月30日のそれぞれ10営業日前から当該日までの期間は受付を停止いたします。



JUROKU BANK
www.juroku.co.jp/



このミニディスクロージャー誌は環境に配慮した
植物油インキを使用しております。

十六銀行ミニディスクロージャー誌
平成22年12月発行
発行：株式会社十六銀行 経営企画部ブランド戦略室
岐阜市神田町8丁目26 TEL(058)265-2111(代)